

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)「放射線影響研究と防護基準策定に関する科学史的研究」(研究代表者一柿原泰・東京海洋大学准教授)主催.
広島大学平和センター後援.

Seminar “The Diplomacy of Nuclear Safety and Radiation Dosimetry”

— Maria Rentetzi先生を囲んで—



原子力安全基準, 放射線防護基準, これらは単に科学研究の対象ではありません. それは, 1950年代後半からフクシマ後の今日にいたるまで国際的な舞台における, ときに熱を帯びた論争のテーマであり, 国際交渉の大きな課題でした. 今回, 現代科学と国際政治の相關領域における放射線防護の諸問題に鋭い切り口で迫り, EU全域での共同研究をリードしているMaria Rentetziアテネ工科大学准教授を広島にお招きし, みずからの問題意識について縦横に語っていただきます. ときに一方的になりがちな講演形式ではなく, あえてラウンドテーブルの形式を執りました. 標記の問題にご関心の方の積極的なご参加をお願い申し上げます.



2018年11月6日(火) 16:00~18:00 入場無料
広島大学東千田未来創生センター, Room No.3-1 言語一英語

連絡先: 市川 浩(広島大学大学院総合科学研究科: ichikawa@hiroshima-u.ac.jp)